

3.2 アンケート調査結果(事業所)

伊賀市環境基本計画の見直しを行うため、事業所の皆様の環境に対する意向や意見、環境保全への取組みなどについて、意識調査を実施させていただきました。

- 調査時期：令和2年11月～12月
- 対象者：伊賀市の事業所(無作為抽出)

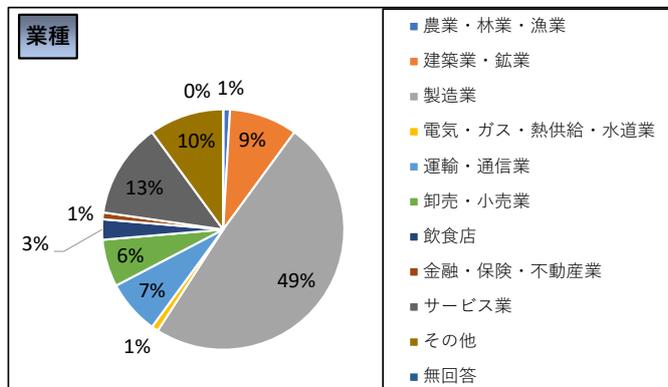
- 担当課：人権生活環境部
- 回答数：110社(回収率55.0%)

【回答事業所について】

問1 貴事業所の業種は？

製造業が多く約49%を占めていました。

業種	人数(人)	割合(%)
農業・林業・漁業	1	1%
建築業・鉱業	10	9%
製造業	54	49%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1%
運輸・通信業	8	7%
卸売・小売業	7	6%
飲食店	3	3%
金融・保険・不動産業	1	1%
サービス業	14	13%
その他	11	10%
無回答	0	0%
合計	110	100%



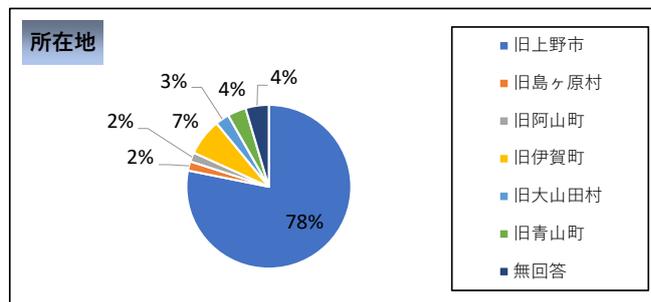
その他

内容	件数
有床診療所	1
ゴルフ場	1
介護福祉	2
物流・倉庫	1
医療	2
一般・産廃収集運搬	1
産業廃棄物処理業	1
宿泊業	1

問2 貴事業所の所在地は？

旧上野市が多く78%を占めていました。

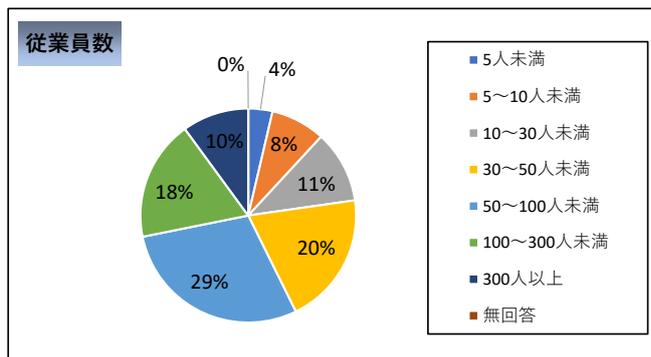
所在地	人数(人)	割合(%)
旧上野市	86	78%
旧島ヶ原村	2	2%
旧阿山町	2	2%
旧伊賀町	8	7%
旧大山田村	3	3%
旧青山町	4	4%
無回答	5	5%
合計	110	100%



問3 貴事業所の従業員数は？

50～100人未満の事業所が多く占めていました。

従業員数	人数(人)	割合(%)
5人未満	4	4%
5～10人未満	9	8%
10～30人未満	12	11%
30～50人未満	22	20%
50～100人未満	32	29%
100～300人未満	20	18%
300人以上	11	10%
無回答	0	0%
合計	110	100%

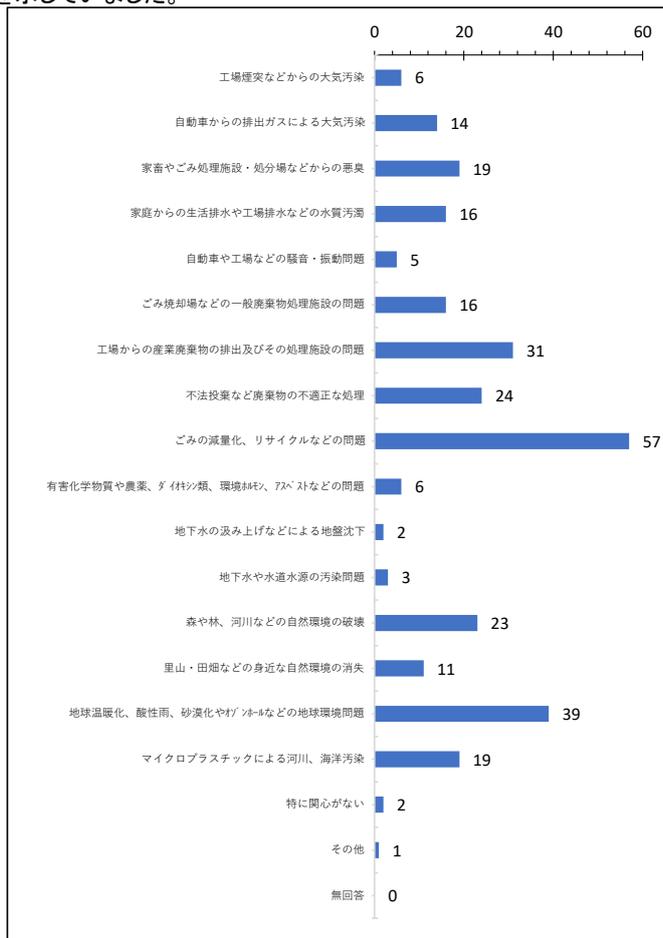


【単純集計結果】
I 環境に対する関心度

問4 あなたの現在、関心のある環境問題は？

ごみの減量化、リサイクルなどの問題に多くの事業所が関心を示していました。

	人数(人)	割合(%)
工場煙突などからの大気汚染	6	2%
自動車からの排出ガスによる大気汚染	14	5%
家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	19	6%
家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	16	5%
自動車や工場などの騒音・振動問題	5	2%
ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	16	5%
工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	31	11%
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	24	8%
ごみの減量化、リサイクルなどの問題	57	19%
有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、環境ホルモン、アスベストなどの問題	6	2%
地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	2	1%
地下水や水道水源の汚染問題	3	1%
森や林、河川などの自然環境の破壊	23	8%
里山・田畑などの身近な自然環境の消失	11	4%
地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	39	13%
マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	19	6%
特に関心がない	2	1%
その他	1	0%
無回答	0	0%
合計	294	100%



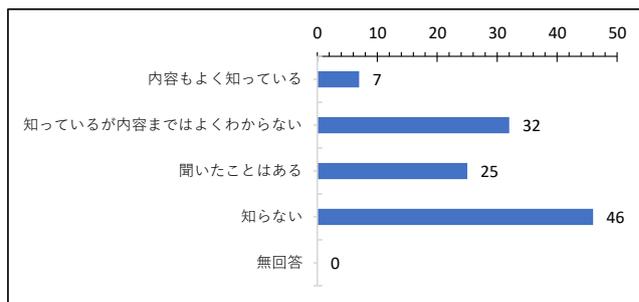
その他

内容	件数
個人的にも2013年に33kwのソーラー設置済	1
養鶏場からの悪臭	1
蛍光灯、水銀使用製品産業廃棄物	1

問5 伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度～2015年度)を知っていますか。

知らないと回答された事業所が多くありました。

	人数(人)	割合(%)
内容もよく知っている	7	6%
知っているが内容まではよくわからない	32	29%
聞いたことはある	25	23%
知らない	46	42%
無回答	0	0%
合計	110	100%

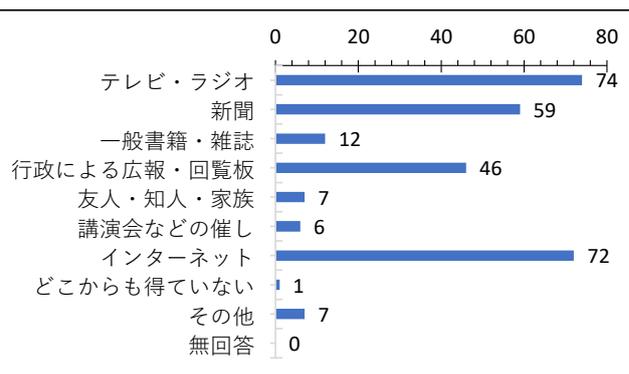


II 環境の情報について

問6 環境に関する情報はどこで入手しますか。

テレビ・ラジオ、インターネットが高い傾向にありました。

	人数(人)	割合(%)
テレビ・ラジオ	74	26%
新聞	59	21%
一般書籍・雑誌	12	4%
行政による広報・回覧板	46	16%
友人・知人・家族	7	2%
講演会などの催し	6	2%
インターネット	72	25%
どこからも得ていない	1	0%
その他	7	2%
無回答	0	0%
合計	284	100%



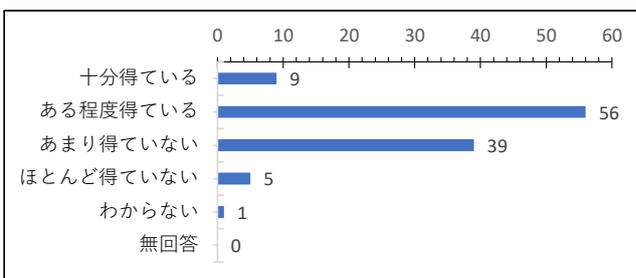
その他

内容	件数
契約会社からの情報	1
社内担当本部より	1
会社から法的に対応しなければならない案件に関し通達がある	1
本社	1
契約している環境法令出版社のメルマガ	1
廃棄物処理業者	1
ISO14001	1
法規出版	1

問7 環境に関する情報入手は十分ですか。

ある程度得ていることが伺えます。

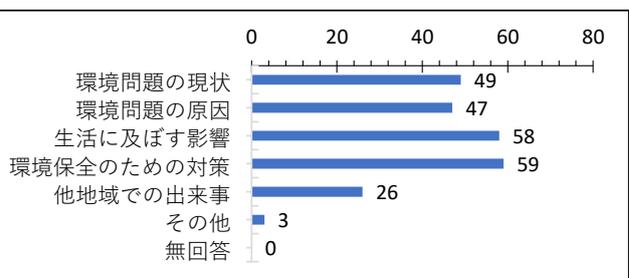
	人数(人)	割合(%)
十分得ている	9	8%
ある程度得ている	56	51%
あまり得ていない	39	35%
ほとんど得ていない	5	5%
わからない	1	1%
無回答	0	0%
合計	110	100%



問8 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何ですか。

様々な環境問題について情報が不足していることが伺えます。

	人数(人)	割合(%)
環境問題の現状	49	20%
環境問題の原因	47	19%
生活に及ぼす影響	58	24%
環境保全のための対策	59	24%
他地域での出来事	26	11%
その他	3	1%
無回答	0	0%
合計	242	100%



その他

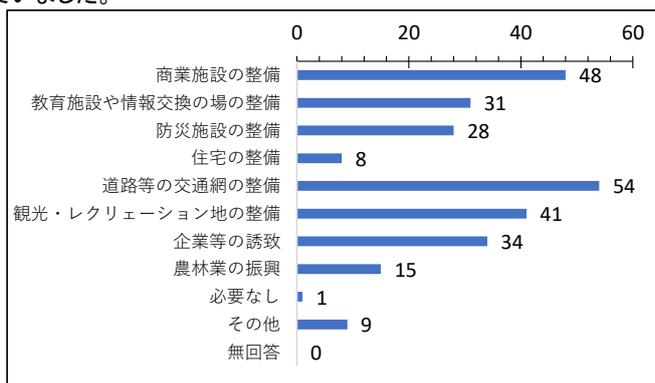
内容	件数
設問4に関する対応	1
特になし	1
改正された法について	1

Ⅲ 望ましい環境像

問9 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。

道路等の交通網の整備は前回アンケートでも高い結果となっていました。

	人数(人)	割合(%)
商業施設の整備	48	18%
教育施設や情報交換の場の整備	31	12%
防災施設の整備	28	10%
住宅の整備	8	3%
道路等の交通網の整備	54	20%
観光・レクリエーション地の整備	41	15%
企業等の誘致	34	13%
農林業の振興	15	6%
必要なし	1	0%
その他	9	3%
無回答	0	0%
合計	269	100%



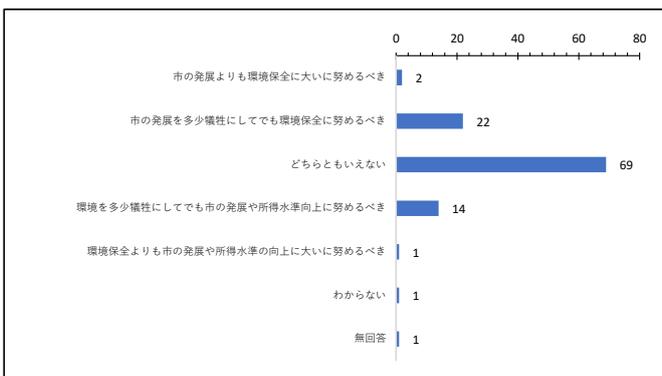
その他

内容	件数
森林整備	1
旧上野市中心市街地、空家の整備	1
大学の誘致	1
特に意見要望なし	1
少子高齢化	1
医療・福祉の更なる充実	3
工業団地をすること。便利な名阪国道沿い。	1
公共交通機関(バス)の充実	1
広報発信の強化	1

問10 環境を守ることと伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることとどちらを優先すべきですか。

どちらともいえないが多くを占めました。

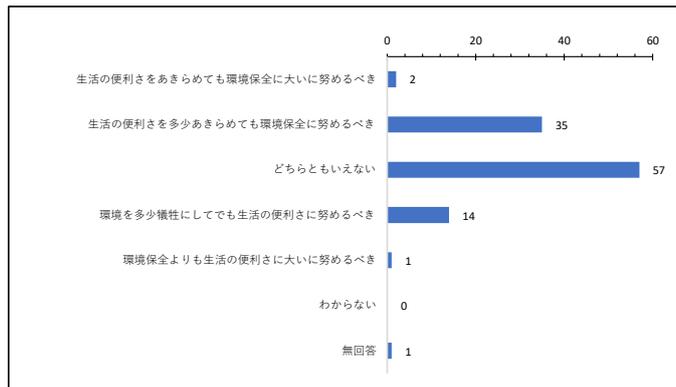
	人数(人)	割合(%)
市の発展よりも環境保全に大いに努めるべき	2	2%
市の発展を多少犠牲にしても環境保全に努めるべき	22	20%
どちらともいえない	69	63%
環境を多少犠牲にしても市の発展や所得水準向上に努めるべき	14	13%
環境保全よりも市の発展や所得水準の向上に大いに努めるべき	1	1%
わからない	1	1%
無回答	1	1%
合計	110	100%



問11 環境を守ることと私たちのくらしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。

どちらともいえないが多く占めました。

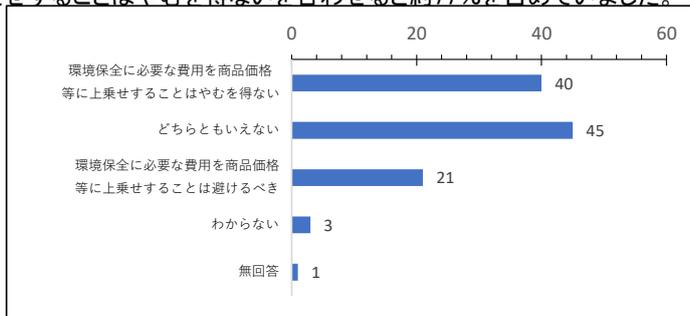
	人数(人)	割合(%)
生活の便利さをあきらめても環境保全に大いに努めるべき	2	2%
生活の便利さを多少あきらめても環境保全に努めるべき	35	32%
どちらともいえない	57	52%
環境を多少犠牲にしても生活の便利さに努めるべき	14	13%
環境保全よりも生活の便利さに大いに努めるべき	1	1%
わからない	0	0%
無回答	1	1%
合計	110	100%



問12 環境を守るために、私たちに費用の一部を負担することなどについて賛成ですか。

どちらともいえない、環境保全に必要な費用を価格等に乗せすることはやむを得ないを合わせると約77%を占めていました。

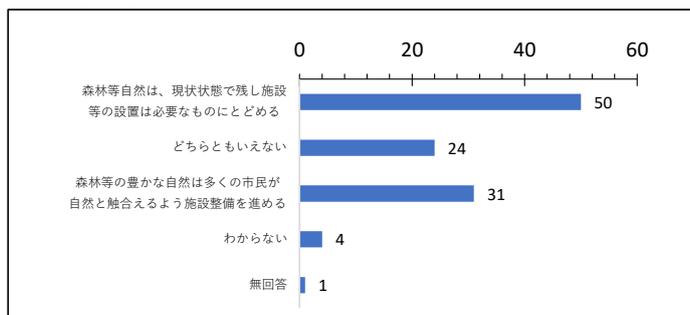
	人数(人)	割合(%)
環境保全に必要な費用を商品価格等に乗せすることはやむを得ない	40	36%
どちらともいえない	45	41%
環境保全に必要な費用を商品価格等に乗せすることは避けるべき	21	19%
わからない	3	3%
無回答	1	1%
合計	110	100%



問13 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。

自然の現状を維持すると共に、施設設置は必要なものにとどめる回答が多く占めました。

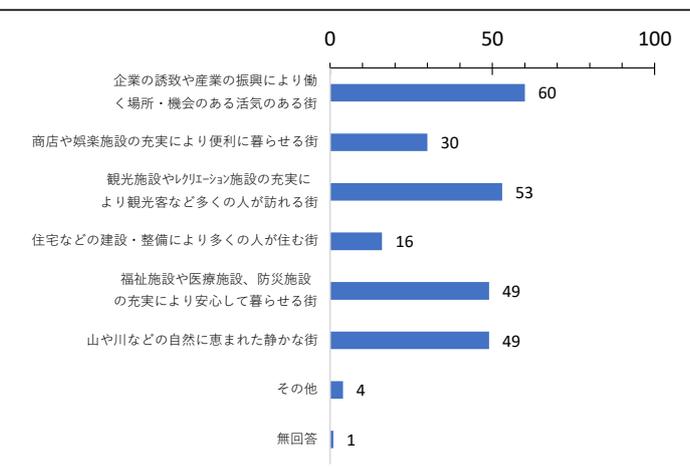
	人数(人)	割合(%)
森林等自然は、現状状態で残し施設等の設置は必要なものにとどめる	50	45%
どちらともいえない	24	22%
森林等の豊かな自然は多くの市民が自然と触れ合えるよう施設整備を進める	31	28%
わからない	4	4%
無回答	1	1%
合計	110	100%



問14 伊賀市全体のイメージとして、どのような市のイメージがふさわしいと思いますか。

回答がわかる結果となりました。

	人数(人)	割合(%)
企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある活気のある街	60	23%
商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせる街	30	11%
観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客など多くの人が訪れる街	53	20%
住宅などの建設・整備により多くの人が住む街	16	6%
福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせる街	49	19%
山や川などの自然に恵まれた静かな街	49	19%
その他	4	2%
無回答	1	0%
合計	262	100%



その他

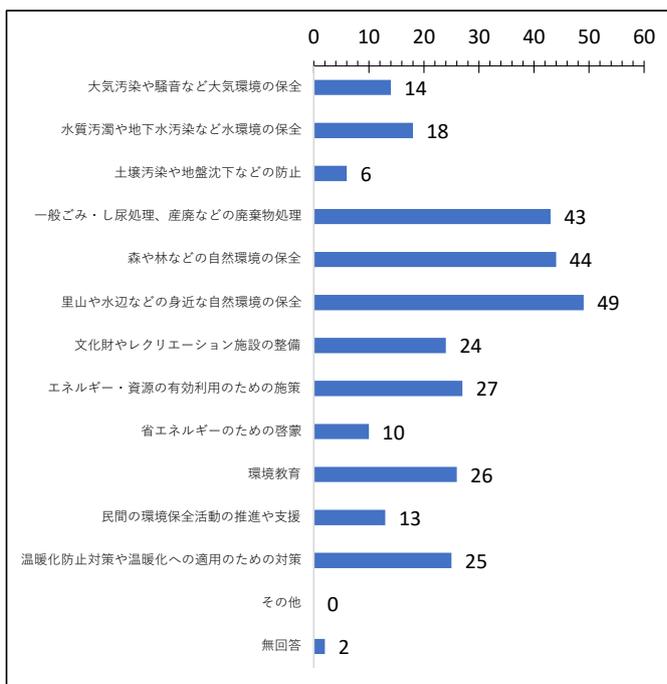
内容	件数
企業誘致に偏りすぎて文化、歴史遺産や伝統が生かされていない。	1
活気はないが自然が多く子供を育てやすい。	1
ワーケーションも誘致できる便利で活気ある自然豊かな静かなまち。	1
自然と生活のちょうどいい町	1

IV 環境保全に対する取り組み

問15 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。

自然環境の保全、廃棄物処理などが多く占めました。

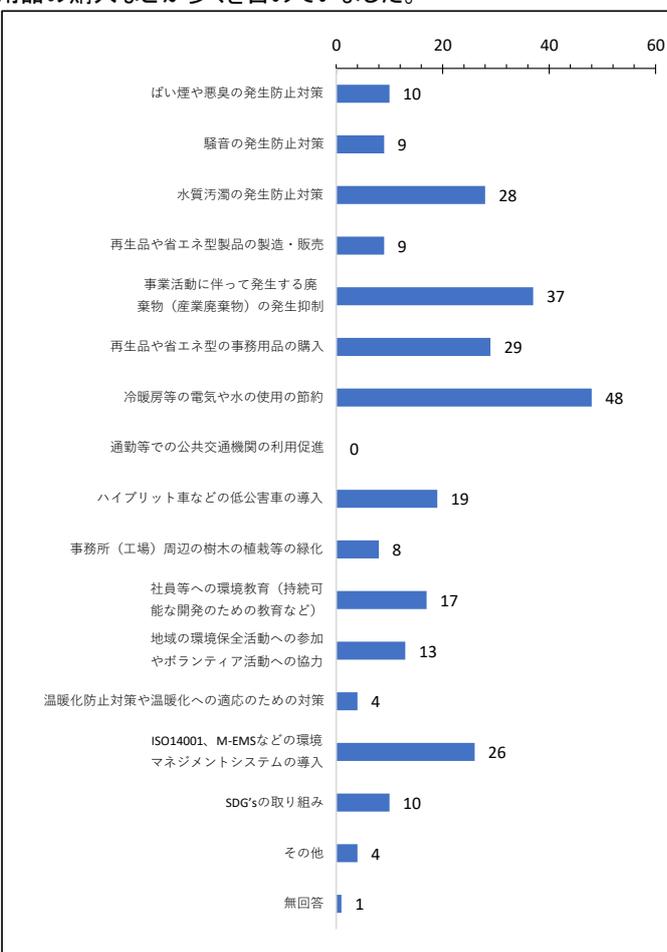
	人数(人)	割合(%)
大気汚染や騒音など大気環境の保全	14	5%
水質汚濁や地下水汚染など水環境の保全	18	6%
土壌汚染や地盤沈下などの防止	6	2%
一般ごみ・し尿処理、産廃などの廃棄物処理	43	14%
森や林などの自然環境の保全	44	15%
里山や水辺などの身近な自然環境の保全	49	16%
文化財やレクリエーション施設の整備	24	8%
エネルギー・資源の有効利用のための施策	27	9%
省エネルギーのための啓蒙	10	3%
環境教育	26	9%
民間の環境保全活動の推進や支援	13	4%
温暖化防止対策や温暖化への適用のための対策	25	8%
その他	0	0%
無回答	2	1%
合計	301	100%



問16 貴事業所では環境保全のためにどのような取り組みを行っていますか。

電器・水の節約、廃棄物の発生抑制、再生品や省エネ型事務用品の購入などが多くを占めていました。

	人数(人)	割合(%)
ばい煙や悪臭の発生防止対策	10	4%
騒音の発生防止対策	9	3%
水質汚濁の発生防止対策	28	10%
再生品や省エネ型製品の製造・販売	9	3%
事業活動に伴って発生する廃棄物(産業廃棄物)の発生抑制	37	14%
再生品や省エネ型の事務用品の購入	29	11%
冷暖房等の電気や水の使用の節約	48	18%
通勤等での公共交通機関の利用促進	0	0%
ハイブリット車などの低公害車の導入	19	7%
事務所(工場)周辺の樹木の植栽等の緑化	8	3%
社員等への環境教育(持続可能な開発のための教育など)	17	6%
地域の環境保全活動への参加やボランティア活動への協力	13	5%
温暖化防止対策や温暖化への適応のための対策	4	1%
ISO14001、M-EMSなどの環境マネジメントシステムの導入	26	10%
SDG'sの取り組み	10	4%
その他	4	1%
無回答	1	0%
合計	272	100%



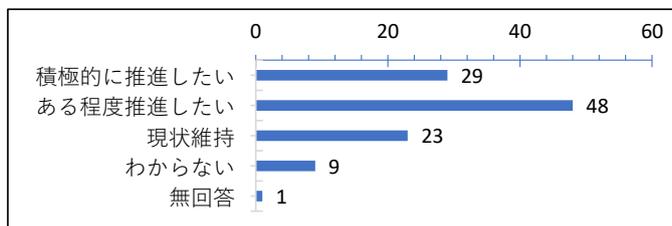
その他

内容	件数
行っていません	1
再生パソコン等	1
森林整備の推進	1
再エネ100%の電気を使用	1
上記全てに取り組んでいます	1

問17 貴事業所では今後、環境保全活動を推進したいとお考えですか。

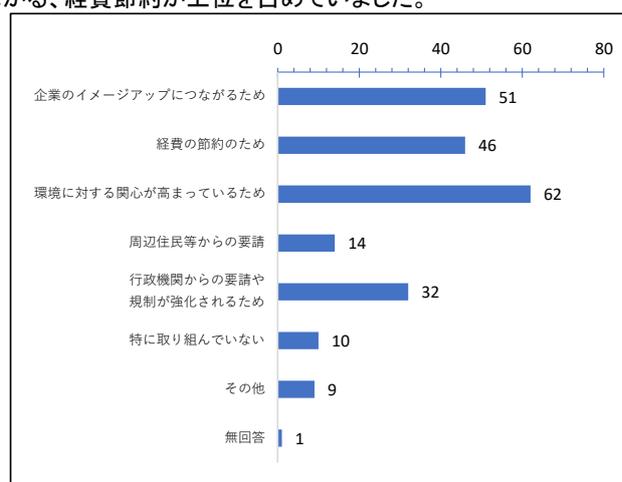
ある程度推進したいが多くを占めていました。

	人数(人)	割合(%)
積極的に推進したい	29	26%
ある程度推進したい	48	44%
現状維持	23	21%
わからない	9	8%
無回答	1	1%
合計	110	100%

**問18 貴事業所が環境保全活動に取り組む理由についてお伺いします。**

環境に関する関心が高まっている、企業のイメージアップにつながる、経費節約が上位を占めていました。

	人数(人)	割合(%)
企業のイメージアップにつながるため	51	23%
経費の節約のため	46	20%
環境に対する関心が高まっているため	62	28%
周辺住民等からの要請	14	6%
行政機関からの要請や規制が強化されるため	32	14%
特に取り組んでいない	10	4%
その他	9	4%
無回答	1	0%
合計	225	100%



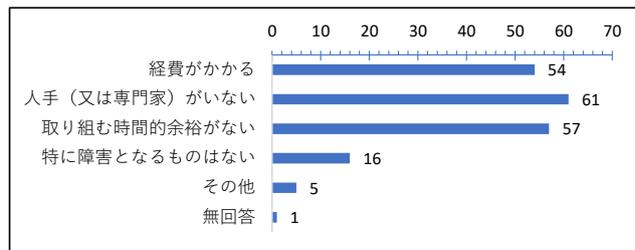
その他

内容	件数
設立主旨の一つである為	1
ISO14001のからみ	1
CSR活動の推進	1
製造メーカーの必須となっている。	1
グループとしての取り組み	1
農業を守るため	1
社会貢献	1
ISO導入することにより、リスクに対しての対応力も培われるため。	1

問19 貴事業所が環境保全活動に取り組むのに障害となっているものについてお伺いします。

人手不足、時間不足、経費がかかるが上位を占めていました。

	人数(人)	割合(%)
経費がかかる	54	28%
人手(又は専門家)がない	61	31%
取り組む時間的余裕がない	57	29%
特に障害となるものはない	16	8%
その他	5	3%
無回答	1	1%
合計	194	100%



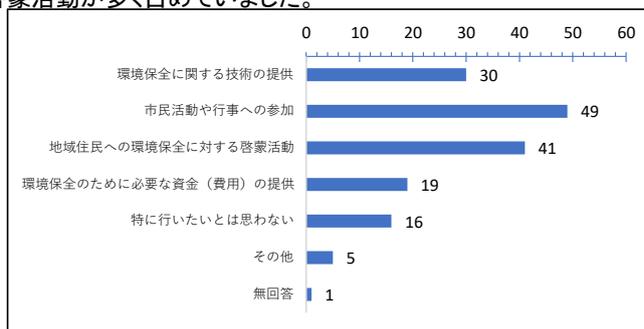
その他

内容	件数
特にありません	1
現在も積極的に取り組んでおり、今後も継続して取り組む。	1
専門知識が必要	1

問20 貴事業所が今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。

市民活動や行事への参加、地域住民への環境保全に対する啓蒙活動が多く占めていました。

	人数(人)	割合(%)
環境保全に関する技術の提供	30	19%
市民活動や行事への参加	49	30%
地域住民への環境保全に対する啓蒙活動	41	25%
環境保全のために必要な資金(費用)の提供	19	12%
特に行いたいとは思わない	16	10%
その他	5	3%
無回答	1	1%
合計	161	100%



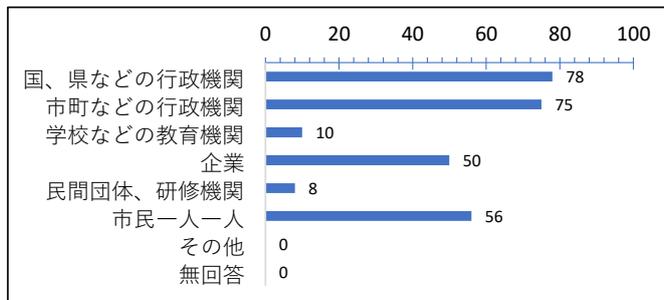
その他

内容	件数
自助努力	1
わからない	1
必要最低限での配慮	1
環境負荷の軽減	1
今はコロナの影響でそれどころではない	1

問21 環境保全のために最優先で取り組むべき機関は。

行政機関に対し期待される結果となりました。

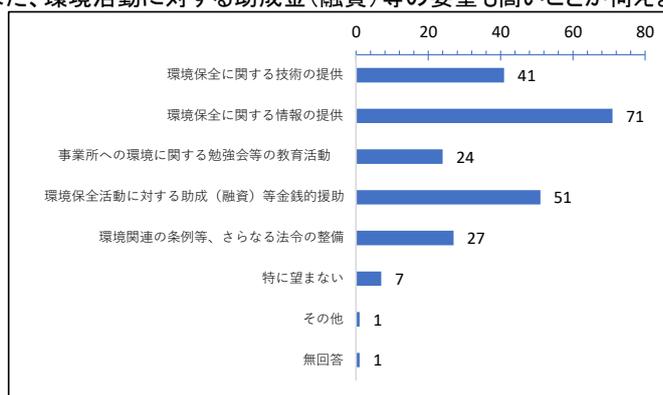
	人数(人)	割合(%)
国、県などの行政機関	78	28%
市町などの行政機関	75	27%
学校などの教育機関	10	4%
企業	50	18%
民間団体、研修機関	8	3%
市民一人一人	56	20%
その他	0	0%
無回答	0	0%
合計	277	100%



問22 貴事業所は環境保全に取り組むために、行政(伊賀市)に対してどのような支援を望みますか。

環境保全に関する情報提供の回答が多くを占めていました。また、環境活動に対する助成金(融資)等の要望も高いことが伺えまし

	人数(人)	割合(%)
環境保全に関する技術の提供	41	18%
環境保全に関する情報の提供	71	32%
事業所への環境に関する勉強会等の教育活動	24	11%
環境保全活動に対する助成(融資)等金銭的援助	51	23%
環境関連の条例等、さらなる法令の整備	27	12%
特に望まない	7	3%
その他	1	0%
無回答	1	0%
合計	223	100%



その他

内容	件数
コロナ対策	1